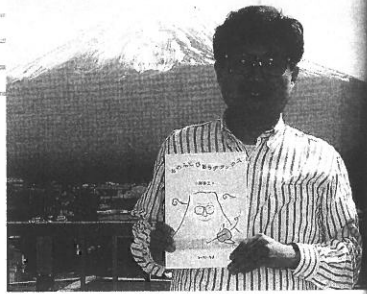


13 小野富士 雑記帖

NHK交響楽団ヴィオラ奏者
モルゴーア・クアルテット・ヴィオラ奏者
小野富士

<18>



「貴重な体験」

モルゴーア・クアルテットのショスタコーヴィチ全曲演奏会が終わりました。
9月23日&24日は14:00からと18:30からの2回公演、27日は19:00からの公演、
計5回公演で15曲の弦楽四重奏曲を3曲ずつ順番に演奏しました。
23、24日の4回の演奏会には350人から380人のお客様、27日には400人を超えるお
客様が第一生命ホールでの、私達の演奏に立ち会っていただきました。

演奏中はメンバーそれぞれが「今、弾いている音しか見えない」という極限状態を
何度も経験しながらも、なんとか15曲を弾き終えることができました。

お客様の集中力も凄まじく、静かに終わる曲の時は勿論、しっかり大きな音で終わ
る曲の時も、会場から私達の音がすべて消え去るまで拍手をする人が一人もいない、
という演奏会が続きました。

会場で配られるプログラムもひと味違うもので、いつも私達の定期演奏会にプログ
ラムノートを書いてくださっている、作曲家の林光先生のプログラムノート+毎回
少しずつのメッセージ付きという付加価値の高いものでした。

また、この演奏会のアンコールを含むすべての録音が、「ぶらあぼ」→「音楽配信」
<http://bravissimo-blog.mde.co.jp/blog/c/10001092.html> というサイトで配信され
ています。興味のある方は覗いてみてください。

今回の一連の演奏会は、少々乱暴な企画だったかも知れませんが、この企画を乗り
切ったことで、モルゴーア・クアルテットはまた変化すると思います。

このような企画を進め、実現してくださったトリトン・アーツ・ネットワークの関
係者の方々に本当に心から感謝いたしますと共に、いくらチケットが廉価だといっ

ても、連日足を運んでくださったお客様にも心から御礼申し上げます。

さて、またまた宣伝です。

11月19日(日)13:30からと18:00から(この頃何故かダブルヘッダーが多い)熊
本県合志市総合センター“ヴィーブル”文化会館で、「ザ・シンフォニエッタ」
(<http://www5d.biglobe.ne.jp/~sinfonie/>)という熊本市にあるアマチュアオーケス
トラを指揮します。
今回は会場の客席数が少ないためダブルヘッダーになったようです。

オール・モーツァルト・プログラムで「ドン・ジョバンニ」序曲K.527、ピアノ協奏
曲第20番ニ短調K.466、交響曲第41番ハ長調K.551「ジュピター」です。

ピアニストは熊本市出身で京都芸大や国立ブレーメン芸大で勉強した吉田秀晃さん。
現在は郷里熊本に戻り、熊本大学等で教えながら演奏活動をしている人です。

ザ・シンフォニエッタとは10年以上前からの付き合いで、最初はトレーナーとして
行ったのですが、その後、協奏曲を弾かせてもらったり、いろいろとお付き合いを
するうちに、今回の演奏会を指揮することになりました。
以前、アマオケについて書いたときにも触れましたが、特に社会人アマオケのトレ
ーナーで行くときは必ず念頭に置いている事があります。

それは、社会人アマオケというのは、日々仕事に忙しい人たちが時間を合わせて、
しかもお金を出し合っただけ集まっているわけですから、私はその場で皆さんの(まさに)
トレーニングをし、それプラス、時間があるときに個人練習をする「仕方」や「糸
口」を提案するために行く、という事です。

私の場合、指揮をするというのは、トレーニングの延長として、本番もメンバーと
一緒に音楽を「味わい」「楽しむ」ことになります。

指揮そのものは私の職業ではありませんが、日々職業音楽家として生きている、ほ
んの一部でもアマチュアの人たちに提供することを喜んでいただけたら、そ
れは私にとっても大きな喜びとなります。

しかもその上、それをきっかけに私達の演奏会に、親しみを持って来てくれる人が
増えるのは、ますます嬉しいことだ!という思いは当然あります。

九州方面の方で、お時間と興味のある方は是非お運び下さい。